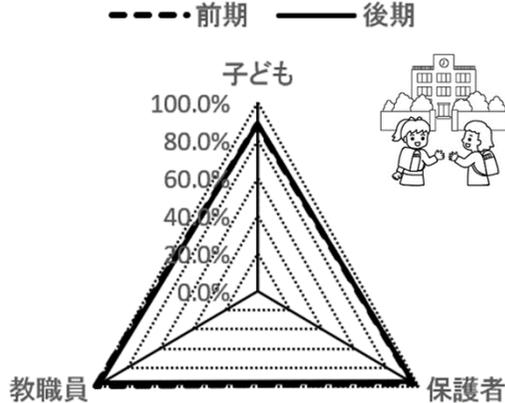


★H29★学校評価アンケート結果★前期後期の結果から

学校生活が楽しい

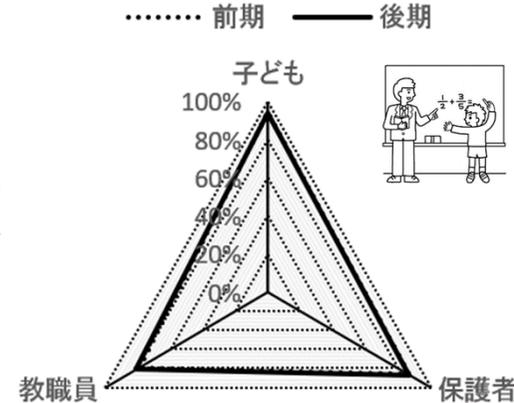
| | 前期 | 後期 |
|-----|--------|-------|
| 子ども | 88.6% | 89.0% |
| 保護者 | 96.6% | 95.8% |
| 教職員 | 100.0% | 97.0% |



★学校生活について保護者・教職員ともに評価が少し下がっていますが、児童の中では実際には、学校生活が楽しいと感じている割合が増えています。
★子どもたち同士の間関係や学習において困難を感じる場面があっても、仲間や大人達の支えの中で、楽しく学校生活を送れているようです。
★地域の方の回答もすべて、「よくできている」もしくは「だいたいできている」に含まれていました。子どもたちがますます楽しく学校生活を送れるよう、教職員一同努力していきます。

先生の授業がよくわかる

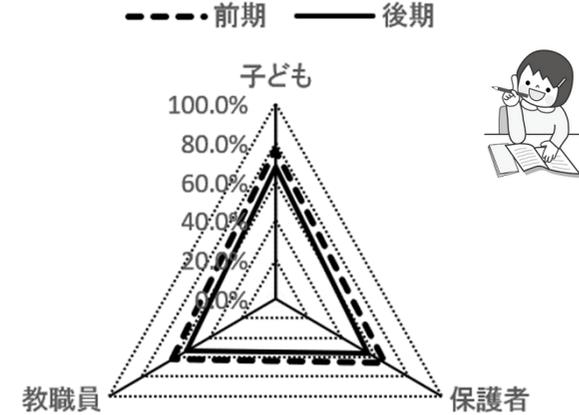
| | 前期 | 後期 |
|-----|-------|-------|
| 子ども | 94.4% | 94.0% |
| 保護者 | 86.5% | 87.0% |
| 教職員 | 78.9% | 81.3% |



★後期は次の学年へ向けて学習内容がステップアップしていきます。その中で前期より僅かに減少しているものの、授業がよくわかると回答する児童の割合は高い水準を保っています。
★保護者・教職員は共に実現度が高まっています。日々の授業や宿題、テストなどに取り組む子どもたちの様子から、内容をよく理解している姿や、つまづきを克服していく姿を、周りの大人が実感しているのだと予想されます。
★久我の杜小学校では引き続き、子どもたちにとってよくわかる授業を構築できるよう教材の研究や準備に尽力していきます。

毎日15分間×学年ほどの家庭学習ができている

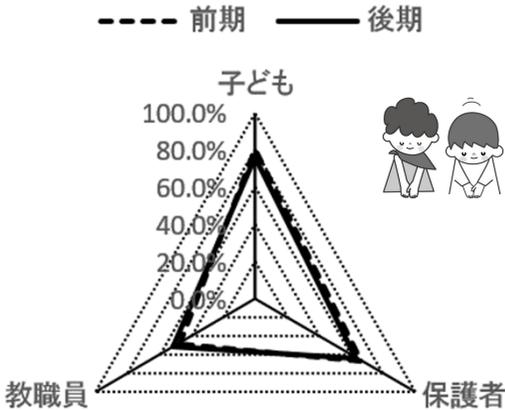
| | 前期 | 後期 |
|-----|-------|-------|
| 子ども | 76.6% | 67.7% |
| 保護者 | 65.3% | 55.7% |
| 教職員 | 62.2% | 53.1% |



★家庭学習の実現度は、子ども・保護者・教職員いずれも約10%下がっています。
★15分×学年という目標時間は、低学年にとっては宿題を丁寧にやり切るだけで十分に費す時間と思われる。子どもがじっくりと取り組めるような、宿題の出し方や評価のしかたとなるよう工夫していきたいです。
★高学年では進級や中学校へのレベルアップとして、宿題だけでなく自主学習として反復練習や苦手の克服、発展的な調べ学習などをしていけると素晴らしいです。

自分から進んであいさつしている

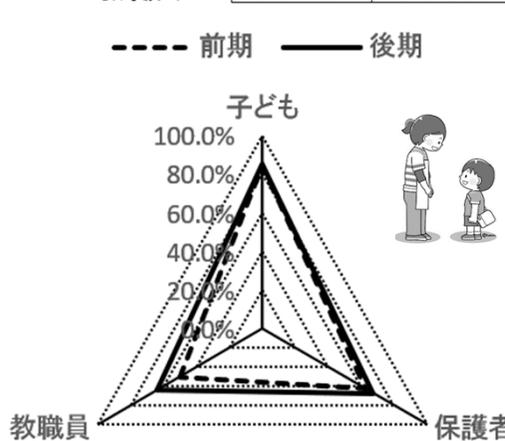
| | 前期 | 後期 |
|-----|-------|-------|
| 子ども | 80.1% | 76.0% |
| 保護者 | 66.8% | 63.3% |
| 教職員 | 47.4% | 51.5% |



★あいさつについては教職員においては実現度が高まっています。子ども達のほうからすすんであいさつしてくれた時や、子ども同士で気持ちの良いあいさつをできている場面を見つけ、褒めるような声掛けを今後もしていきたいです。
★地域の方の回答でも、「できている」が多く、学校の外でも自分からあいさつすることばを言える児童の姿を評価して頂いていることが分かりました。
★子ども・保護者においては前期に比べて実現度が低くなっています。家族に対しても感謝の気持ちを忘れずに、あいさつを大切にできる人に成長して欲しいものです。

正しい言葉づかいに気をつけている

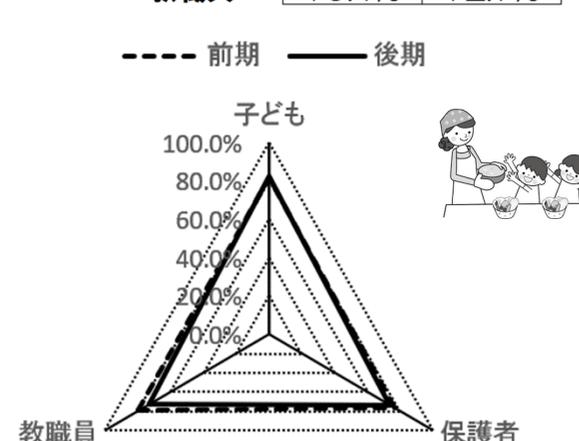
| | 前期 | 後期 |
|-----|-------|-------|
| 子ども | 84.5% | 85.3% |
| 保護者 | 62.9% | 67.6% |
| 教職員 | 50.0% | 63.6% |



★正しい言葉づかいについては、子ども・保護者・教職員全てで前期よりも実現度が高まっています。保護者は約5%、教職員においては約13%も上昇しています。一方、地域の方の回答では、「あまりできていない」という声も少なからず見受けられました。
★学校では正しい敬語の使い方のみならず、相手を思いやり嬉しい気持ちにさせたりする「ふわふわことば」を使おう、という指導を全校挙げて取り組んでいます。
★今後は家庭や学校の中だけでなく、誰に対しても気持ちの良い言葉づかいをできるように教職員が見本となって教えていきたいです。

家族の一員として家のお手伝いや仕事をしている

| | 前期 | 後期 |
|-----|-------|-------|
| 子ども | 81.5% | 82.1% |
| 保護者 | 76.3% | 73.7% |
| 教職員 | 79.4% | 72.7% |



★家庭でのお手伝いや仕事について、子どもの中で実現度は上がっていますが、保護者・教職員の中では下がっています。
★地域の方も、「あまりできていない」と回答されています。
★学校では、生活科や道徳などの学習場面、掃除や当番活動などの生活場面で、子どもたちがしている家庭での仕事について尋ねたり評価することができます。
★人の役に立とうという気持ちや責任感を養っていきけるよう、お手伝いについて一層声をかけていきたいです。

どの項目においても、前期と後期では、あまり大きな差異は見られませんでした。全体として少しずつ実現度が高まっていました。しかし、変わらず5割を下回っている項目の「授業以外で1日当たり20分程度、本を読んでいる」については、今後も国語の時間だけでなく、読書タイムや図書館指導等を含めた学校教育活動全体を通して、子どもたちがより本に親しめるよう指導を続けていきたいと考えています。重要度の高かった項目の中で、「授業に必要な準備ができている」、「授業の内容はよくわかる」の2つで、ここ1年間に向上が見られたことは大変よい傾向と考えられます。学校では、今回の学校評価の結果を踏まえ、さらに実現度を高め、子どもたちに期待されている生活を送れるようにさまざまな取組を充実させ、子どもたちのよりよい成長をめざしていきたいと思っております。お忙しい中、学校評価アンケートにご協力いただき、本当にありがとうございました。